

平成 27 年 度

事業計画書

平成 27 年 4 月 1 日から
平成 28 年 3 月 31 日まで

公益財団法人下関海洋科学アカデミー

平成 27 年度事業計画書

平成 27 年 4 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日まで

1. 事業方針

当財団は指定管理者として下関市より下関市立しものせき水族館「海響館」の管理運営事業を受託し、自然と人との共存を実感できる観光・レクリエーション・学習施設として、地域社会への貢献に努めます。

環境、生態、生物多様性について教育的配慮のもと感動と楽しさを伴った展示活動により「市民が誇れる水族館、やさしい水族館」を目指します。

公益事業については、楽しく学ぶスタイルでリピーター対策も考慮した内容で展示充実をはじめ水生生物に係る教育普及活動を行います。将来の安定的な飼育展示維持を目指して展示動物の飼育下繁殖に努め、人工授精への取り組みを推進します。展示コーナーの部分改修に向けた計画を立案いたします。話題性、パブリシティ効果のあるイベント、企画展等を開催し、多くの利用者の観覧に供するように努めると同時に、教育機関との連携を密にした取り組みを強化し、学習施設としての機能を果たすべく計画実施して参ります。

野生生物の保護は、下関市立しものせき水族館の社会的な責務と捉え、海産哺乳類をはじめとした野生生物の地域保全センター的役割を担うよう努めます。

下関市立しものせき水族館は生涯学習施設であると同時に、関門ウォーターフロント地区の観光・レクリエーション事業の中核的拠点として位置づけられており、当財団はその運営において周辺観光地域と連携を深め、積極的な観光客誘致活動を展開し、年間 637,200 人以上の入館者の獲得を目指します。また、サポーターズクラブ会員数の確保を目指して参ります。

収益事業については、ミュージアムショップ、レストラン等の運営を実施いたします。運営にあたっては、来館者のニーズを踏まえ、より魅力的な商品の選定と開発、サービスの提供に努め、その事業収益をもって広範な公益事業の財源といたします。

この他、更なる発展を目指してリニューアル基本構想の策定に努めます。

2. 事業内容

(1) 下関市海洋環境体験施設の設置等に関する条例第 5 条及び第 11 条に規定する業務

下関市立しものせき水族館の管理運営に関する基本協定ならびに地方自治法施行令第 158 条第 1 項の規定による下関市立しものせき水族館使用料徴収事務委託契約に基づき、業務を遂行する。

(2) 水生生物に関する調査研究及び普及啓発

- ① 飼育生物の繁殖を推進し、特に生態的な知見の乏しい種について調査研究を実施する。
- ② 瀬戸内海西方海域スナメリ協議会の活動に積極的に参加し、山口県、福岡県、大分県にわたる海域のスナメリを中心とした沿岸鯨類の調査及びスナメリの繁殖に関する研究を実施する。
- ③ その他鯨類の調査・研究ならびに座礁、混獲鯨類等への対応と調査を実施する。
- ④ ホエールボランティアの活動として、ストランディングデータベースの充実化を継続する。
- ⑤ 下関周辺でのウミガメの出現や産卵情報を収集し、調査等を通じて保護啓発を図る。
- ⑥ 周防大島沖に群生するニホンアワサンゴの生息域外保全活動を進める。
- ⑦ 奄美大島周辺海域にてアマミホシゾラフグの卵採集や生息環境調査等を実施する。
- ⑧ チリ国立サンチアゴ・メトロポリタン公園付属動物園のフンボルトペンギンプロジェクトに協力する。

- ⑨ 出前講座、観察会等館内外での社会教育活動を継続し、必要な調査等も実施する。
- ⑩ 解説ボランティアの育成に努め、自主的な学習や解説技法の開発等を支援する。
- ⑪ 公式ホームページを通じて普及啓発を図るとともに、館の活動をPRするツールとして活用する。

(3) 水生生物の収集、飼育及び展示

- ① 生物収集は、自家採集並びに直接購入、自家輸送を積極的に実施する。
- ② アンコウやマンボウについて山口県下での収集・蓄養を図る。
- ③ ペンギン類の新たな血統導入についての収集調査を継続し、またエンリッチメントに配慮した飼育環境の整備に努めてアクティブなペンギンの行動展示等、展示の充実を図る。
- ④ 飼育生物とりわけイルカ類・ペンギン類の人工繁殖技術獲得を推進する。
- ⑤ フグ目魚類は100種常設展示を継続し、展示コレクションとして世界随一を維持しながら新たな展示種の導入を積極的に図るとともに、飼育繁殖への取り組みを充実させる。
- ⑥ ニホンアワサンゴやクラゲ類等、刺胞動物の飼育を推進し展示の充実に努める。
- ⑦ 地域情報を収集し、話題性のある生物展示を実施する。
- ⑧ 飼育生物の健康管理を強化し、健全な環境作りや繁殖に向けたデータ蓄積を図る。
- ⑨ 見やすくわかりやすい展示を行い、展示意図を明確に伝える。
- ⑩ 展示種特有の暮らし方（生き様）を紹介する。
- ⑪ 参加型展示、体験型学習の発展に努める。
- ⑫ アクアシアターのプレゼンテーションは新たなビヘイビアの創作を目指す他、展示ソフトを開発する。
- ⑬ 「夜の水族館」は単なる時間延長でなく、昼と異なった企画として実施する。

(4) 広報宣伝、観光客誘致、その他観光・レクリエーション事業の振興に関する事業

- ① 旅行エージェント等への企画提案
- ② 近隣観光施設との提携、協同観光誘致、協同パンフレットの作成
- ③ 広報宣伝事業
 - i. エージェント等への訪問セールスやダイレクトメール送付
 - ii. テレビ・ラジオ広告
 - iii. タウン誌、情報誌広告
 - iv. 広告塔による広告
 - v. バス側面広告及び路線バス車内放送による広報宣伝
 - vi. 地域協賛広告
 - vii. 観光宣伝隊による誘致活動
 - viii. ホームページによる広告

(5) 観光資源の開発及び観光事業関係団体等との連携

- ① 周辺地域の観光施設および観光促進団体との連携、調整、情報交換
- ② 下関の特色ある水産物に関する知識の普及と啓蒙

(6) 下関市立しものせき水族館の事業に関連する収益事業

- ① ミュージアムショップの運営と新商品の開発
- ② レストランの運営委託

(7) その他

- ① 公益社団法人日本動物園水族館協会の事業に関連する活動
 - i. 全国及びブロックの各種会議、研修会等に参加し、情報の交換及び研究成果を発表する。
 - ii. その他必要な研修会等に参加し、技術の向上を図る。
- ② 国内外の水族館等との連携
 - i. 国内は勿論のこと、釜山水族館や香港オーシャンパーク、チリ国立サンチアゴ・メトロポリタン公園付属動物園等海外の動物園・水族館や研究機関等との交流等を通じ、職員の研究意欲を高め、人材育成に努める。
 - ii. 他水族館等との展示生物及び飼育技術の交換を図る。
- ③ 大学、研究機関、学会等との連携と技術、情報の収集
 - i. 国内外の大学、研究機関、学会等との連携、情報交換、技術交流を図る。
 - ii. 共同研究や研究協力を通じて連携を強化し、生物学的情報の収集に努める。
 - iii. 独立行政法人水産大学校との連携を維持し、オープンラボを発展させる。
 - iv. ペンギン会議、日本セトロジー研究会等、実績ある活動グループとの連携を強化し、飼育展示に反映させるよう取り組む。
- ④ 下関市立市民病院との連携をとり、ドルフィンセラピーの実施に協力する。

平成27年度 正味財産増減予算書

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益			
基本財産受取利息	80,000	80,000	0
② 受取会費			
賛助会員受取会費	23,000,000	23,000,000	0
③ 事業収益			
管理受託事業収益	912,551,000	891,360,000	21,191,000
館内販売事業収益	251,954,000	283,020,000	△ 31,066,000
レストラン事業収益	3,000,000	3,000,000	0
写真販売事業収益	2,464,000	1,827,000	637,000
自動販売機等事業収益	21,320,000	27,752,000	△ 6,432,000
④ 受取補助金等			
受取民間補助金	6,904,000	0	6,904,000
⑤ 雑収益			
受取利息	0	0	0
雑収益	4,846,000	5,355,000	△ 509,000
経常収益計	1,226,119,000	1,235,394,000	△ 9,275,000
(2) 経常費用			
① 事業費			
役員報酬	11,280,000	11,280,000	0
給料	101,239,050	107,218,980	△ 5,979,930
職員手当	83,009,080	84,202,860	△ 1,193,780
退職給付費用	6,119,020	6,687,810	△ 568,790
福利厚生費	33,473,280	34,634,000	△ 1,160,720
臨時職員賃金	54,286,950	53,745,450	541,500
会議費	240,000	240,000	0
旅費交通費	5,897,000	4,849,000	1,048,000
通信運搬費	1,618,200	1,581,090	37,110
減価償却費	2,794,094	4,523,829	△ 1,729,735
消耗什器備品費	9,440,000	5,457,000	3,983,000
消耗品費	32,586,350	36,301,050	△ 3,714,700
水族購入費	5,017,000	4,117,000	900,000
展示資料購入費	197,000	202,000	△ 5,000
飼料購入費	28,278,000	30,711,000	△ 2,433,000
原材料費	610,150	610,100	50
修繕費	22,878,300	22,836,500	41,800
印刷製本費	6,658,000	6,295,000	363,000
燃料費	1,573,700	1,434,700	139,000
光熱水料費	206,179,850	204,322,950	1,856,900
賃借料	15,736,650	16,394,000	△ 657,350
保険料	1,258,000	1,317,000	△ 59,000
諸謝金	0	0	0
手数料	1,481,000	1,250,000	231,000
広報宣伝費	0	0	0
租税公課	7,028,000	13,167,000	△ 6,139,000
支払負担金	952,000	952,000	0
委託費	212,318,050	185,601,400	26,716,650
期首商品棚卸高	2,230,493	2,230,493	0
館内販売仕入費	164,210,000	187,234,000	△ 23,024,000
期末商品棚卸高	△ 2,230,493	△ 2,230,493	0
雑費	100,000	60,000	40,000

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
② 管理費			
役員報酬	4,423,000	4,423,000	0
給料	14,561,950	15,347,020	△ 785,070
職員手当	14,186,920	14,249,140	△ 62,220
退職給付費用	1,120,980	1,201,190	△ 80,210
福利厚生費	5,099,720	5,239,000	△ 139,280
臨時職員賃金	3,352,050	3,333,550	18,500
会議費	843,000	860,000	△ 17,000
旅費交通費	6,200,000	5,373,000	827,000
交際費	100,000	100,000	0
通信運搬費	2,197,800	2,029,910	167,890
減価償却費	0	0	0
消耗什器備品費	524,000	778,000	△ 254,000
消耗品費	6,904,650	5,577,950	1,326,700
原材料費	10,850	10,900	△ 50
修繕費	2,428,700	2,440,500	△ 11,800
印刷製本費	1,488,000	1,558,000	△ 70,000
燃料費	385,300	415,300	△ 30,000
光熱水料費	10,625,150	10,523,050	102,100
賃借料	4,644,350	5,585,000	△ 940,650
保険料	683,000	761,000	△ 78,000
諸謝金	116,000	101,000	15,000
手数料	22,618,000	16,483,000	6,135,000
広報宣伝費	6,038,000	7,571,000	△ 1,533,000
租税公課	21,903,000	22,531,000	△ 628,000
支払負担金	2,178,000	1,569,000	609,000
委託費	65,398,950	66,116,600	△ 717,650
雑費	50,000	50,000	0
経常費用計	1,214,540,094	1,221,452,829	△ 6,912,735
評価損益等調整前当期経常増減額	11,578,906	13,941,171	△ 2,362,265
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	11,578,906	13,941,171	△ 2,362,265
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
① 固定資産売却益			
什器備品売却益	0	0	0
電話加入権売却益	0	0	0
② 固定資産受贈益			
投資有価証券受贈益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
① 固定資産売却損			
什器備品売却損	0	0	0
電話加入権売却損	0	0	0
② 固定資産減損損失			
投資有価証券減損損失	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	11,578,906	13,941,171	△ 2,362,265
法人税、住民税及び事業税	4,012,000	0	4,012,000
当期一般正味財産増減額	7,566,906	13,941,171	△ 6,374,265
一般正味財産期首残高	307,511,673	293,570,502	13,941,171
一般正味財産期末残高	315,078,579	307,511,673	7,566,906
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	315,078,579	307,511,673	7,566,906

正味財産増減予算書内訳表

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

(単位:円)

科目	公益目的事業会計 水族館事業	収益事業等会計 売店等事業	法人会計	内部取引消去	合計
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
① 基本財産運用益					
基本財産受取利息	80,000	0	0		80,000
② 受取会費					
賛助会員受取会費	23,000,000	0	0		23,000,000
③ 事業収益					
管理受託事業収益	751,115,007	0	161,435,993		912,551,000
館内販売事業収益	0	251,954,000	0		251,954,000
レストラン事業収益	0	3,000,000	0		3,000,000
写真販売事業収益	0	2,464,000	0		2,464,000
自動販売機等事業収益	0	21,320,000	0		21,320,000
④ 受取補助金等					
受取民間補助金	6,904,000	0	0		6,904,000
⑤ 雑収益					
受取利息	0	0	0		0
雑収益	936,000	3,910,000	0		4,846,000
経常収益計	782,035,007	282,648,000	161,435,993	0	1,226,119,000
(2) 経常費用					
① 事業費					
役員報酬	9,060,000	2,220,000			11,280,000
給料	97,453,050	3,786,000			101,239,050
職員手当	77,926,280	5,082,800			83,009,080
退職給付費用	5,757,120	361,900			6,119,020
福利厚生費	30,468,630	3,004,650			33,473,280
臨時職員賃金	38,560,950	15,726,000			54,286,950
会議費	0	240,000			240,000
旅費交通費	5,689,000	208,000			5,897,000
通信運搬費	1,375,200	243,000			1,618,200
減価償却費	0	2,794,094			2,794,094
消耗什器備品費	8,976,000	464,000			9,440,000
消耗品費	26,816,350	5,770,000			32,586,350
水族購入費	5,017,000	0			5,017,000
展示資料購入費	197,000	0			197,000
飼料購入費	28,278,000	0			28,278,000
原材料費	610,150	0			610,150
修繕費	22,826,300	52,000			22,878,300
印刷製本費	6,658,000	0			6,658,000
燃料費	1,573,700	0			1,573,700
光熱水料費	201,877,850	4,302,000			206,179,850
賃借料	4,448,650	11,288,000			15,736,650
保険料	1,258,000	0			1,258,000
諸謝金	0	0			0
手数料	1,338,000	143,000			1,481,000
広報宣伝費	0	0			0
租税公課	0	7,028,000			7,028,000
支払負担金	0	952,000			952,000
委託費	209,026,050	3,292,000			212,318,050
期首商品棚卸高	0	2,230,493			2,230,493
館内販売仕入費	0	164,210,000			164,210,000
期末商品棚卸高	0	△ 2,230,493			△ 2,230,493
雑費	0	100,000			100,000

(単位:円)

科目	公益目的事業会計 水族館事業	収益事業等会計 売店等事業	法人会計	内部取引消去	合計
② 管理費					
役員報酬			4,423,000		4,423,000
給料			14,561,950		14,561,950
職員手当			14,186,920		14,186,920
退職給付費用			1,120,980		1,120,980
福利厚生費			5,099,720		5,099,720
臨時職員賃金			3,352,050		3,352,050
会議費			843,000		843,000
旅費交通費			6,200,000		6,200,000
交際費			100,000		100,000
通信運搬費			2,197,800		2,197,800
減価償却費			0		0
消耗什器備品費			524,000		524,000
消耗品費			6,904,650		6,904,650
原材料費			10,850		10,850
修繕費			2,428,700		2,428,700
印刷製本費			1,488,000		1,488,000
燃料費			385,300		385,300
光熱水料費			10,625,150		10,625,150
賃借料			4,644,350		4,644,350
保険料			683,000		683,000
諸謝金			116,000		116,000
手数料			22,618,000		22,618,000
広報宣伝費			6,038,000		6,038,000
租税公課			21,903,000		21,903,000
支払負担金			2,178,000		2,178,000
委託費			65,398,950		65,398,950
雑費			50,000		50,000
経常費用計	785,191,280	231,267,444	198,081,370	0	1,214,540,094
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 3,156,273	51,380,556	△ 36,645,377	0	11,578,906
評価損益等計	0	0	0		0
当期経常増減額	△ 3,156,273	51,380,556	△ 36,645,377	0	11,578,906
2. 経常外増減の部					
(1) 経常外収益					
① 固定資産売却益					
什器備品売却益	0	0	0		0
電話加入権売却益	0	0	0		0
② 固定資産受贈益					
投資有価証券受贈益	0	0	0		0
経常外収益計	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用					
① 固定資産売却損					
什器備品売却損	0	0	0		0
電話加入権売却損	0	0	0		0
② 固定資産減損損失					
投資有価証券減損損失	0	0	0		0
経常外費用計	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0
他会計振替額	3,156,273	△ 39,801,650	36,645,377		0
税引前当期一般正味財産増減額	0	11,578,906	0	0	11,578,906
法人税、住民税及び事業税	0	4,012,000	0		4,012,000
当期一般正味財産増減額	0	7,566,906	0	0	7,566,906
一般正味財産期首残高	150,512,000	156,999,673	0		307,511,673
一般正味財産期末残高	150,512,000	164,566,579	0	0	315,078,579
II 指定正味財産増減の部					
当期指定正味財産増減額	0	0	0		0
指定正味財産期首残高	0	0	0		0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0
III 正味財産期末残高	150,512,000	164,566,579	0	0	315,078,579

正味財産増減予算書(公益目的事業会計)

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減	備考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 基本財産運用益				
基本財産受取利息	80,000	80,000	0	100,000千円×0.08%
② 受取会費				
賛助会員受取会費	23,000,000	23,000,000	0	サポーターズクラブ入会金
③ 事業収益				
管理受託事業収益	751,115,007	733,444,934	17,670,073	下関市からの受託収入
④ 受取補助金等				
受取民間補助金	6,904,000	0	6,904,000	
⑤ 雑収益				
受取利息	0	0	0	
雑収益	936,000	1,440,000	△ 504,000	設備保守管理実費弁償等
経常収益計	782,035,007	757,964,934	24,070,073	
(2) 経常費用				
① 事業費				
役員報酬	9,060,000	9,060,000	0	役員等報酬
給料	97,453,050	102,706,980	△ 5,253,930	職員、契約職員給料
職員手当	77,926,280	78,791,060	△ 864,780	時間外勤務手当等諸手当
退職給付費用	5,757,120	6,293,910	△ 536,790	役員退職慰労・退職給付引当金
福利厚生費	30,468,630	31,434,000	△ 965,370	社会保険料等事業主負担分
臨時職員賃金	38,560,950	38,434,450	126,500	パートタイマー、アルバイト賃金
会議費	0	0	0	
旅費交通費	5,689,000	4,643,000	1,046,000	鯨類調査、生物収集等
通信運搬費	1,375,200	1,380,090	△ 4,890	生物・展示資料等輸送費、電話料、郵送料等
減価償却費	0	0	0	
消耗什器備品費	8,976,000	5,053,000	3,923,000	飼育用専門図書、小型水槽等
消耗品費	26,816,350	28,172,050	△ 1,355,700	飼育消耗品、薬品等
水族購入費	5,017,000	4,117,000	900,000	生物購入等
展示資料購入費	197,000	202,000	△ 5,000	展示資料、書籍等
飼料購入費	28,278,000	30,711,000	△ 2,433,000	生物飼料購入費
原材料費	610,150	610,100	50	飼育用具等
修繕費	22,826,300	22,836,500	△ 10,200	設備等修繕
印刷製本費	6,658,000	6,295,000	363,000	パンフレット等
燃料費	1,573,700	1,434,700	139,000	保管施設、自家発電機等
光熱水料費	201,877,850	199,937,950	1,939,900	電気、ガス、上下水道
賃借料	4,448,650	4,424,000	24,650	展示資料・生物、備船料等
保険料	1,258,000	1,317,000	△ 59,000	施設賠償責任、動産総合
諸謝金	0	0	0	
手数料	1,338,000	1,107,000	231,000	生物検査手数料等
広報宣伝費	0	0	0	
租税公課	0	0	0	
支払負担金	0	0	0	
委託費	209,026,050	182,486,400	26,539,650	設備運転管理等
期首商品棚卸高	0	0	0	
館内販売仕入費	0	0	0	
期末商品棚卸高	0	0	0	
雑費	0	0	0	
経常費用計	785,191,280	761,447,190	23,744,090	
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 3,156,273	△ 3,482,256	325,983	
評価損益等計	0	0	0	
当期経常増減額	△ 3,156,273	△ 3,482,256	325,983	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
① 固定資産売却益				
什器備品売却益	0	0	0	
電話加入権売却益	0	0	0	
② 固定資産受贈益				
投資有価証券受贈益	0	0	0	
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
① 固定資産売却損				
什器備品売却損	0	0	0	
電話加入権売却損	0	0	0	
② 固定資産減損損失				
投資有価証券減損損失	0	0	0	
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
他会計振替額	3,156,273	3,482,256	△ 325,983	
税引前当期一般正味財産増減額	0	0	0	
法人税、住民税及び事業税	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	0	0	0	
一般正味財産期首残高	150,512,000	150,512,000	0	
一般正味財産期末残高	150,512,000	150,512,000	0	
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	0	0	0	
指定正味財産期末残高	0	0	0	
III 正味財産期末残高	150,512,000	150,512,000	0	